

商店街の街路灯のLED化を市でやれないか

大崎 敏明議員

Q 市が現在推進している市内の防犯灯、保安灯のLED化事業に加え、商店街の街路灯もLED化するべきではないか。商店街の街路灯は現在、市内に627本あるが、商店街を照らす灯りというより地域の灯りとして重要であるので、防犯灯、保安灯と一体としてLED化を図るべきではないか。

A 商店街の街路灯は、商店街が設置し管理しているものであり、市が商店街の街路灯をLED化することは考えていない。なお、商店街において改修する場合、市補助金を活用できる。しかし、ご指摘の状況があることから各商店街の実態を把握した上で、商店街の街路灯と防犯灯等を一体とした考え方で何か改善策がないか考えていきたい。

NHK大河ドラマ「スミタダ」にチャレンジ

神近 寛議員

Q 2021年は長崎開港450周年。開港したのは大村純忠。2022年は新幹線長崎

ルート開業と大村市にとっては重大な節目であり「歴史観光都市おむら」をアピールする絶好のチャンス。開港450周年事業の一環として、関係他市との連携、人脈の総動員により、NHK大河ドラマ「スミタダ」の誘致に取り組んでみないか。

A これまでも取り組んできたがNHK大河ドラマの誘致は難しい状況である。しかし大きな目標である。関係市町との連携や、ゆかりのある関係者の協力、龍馬伝誘致の経緯等を参考に研究していく。また、他の歴史関連番組においても取り上げていただくよう要望している。今後大村純忠と天正4少年の全国発信に積極的に取り組む。

地元企業の実態把握と経営再生支援に着手を

村崎 浩史議員

Q 来年3月末で金融円滑化法の期限が切れる。地元企業への振興策と再生支援が不可欠だ。地元企業の実態把握は行っているのか。聞き取り調査など状況を定点観測するべきだと思いが、

いかがお考えか。経営再生支援に向け、長崎県中小企業再生支援協議会との連携、市独自の再生支援

チームの結成を提案する。

A 原因がわからなければ対策も立てられない。平成25年度に調査・分析を行いたい。また、県中小企業再生支援協議会との連携を図るとともに、市にも税理士や経営コンサルタント等の専門家、金融機関を入れた再生、支援に役立つチームの必要性はあると思う。平成24年度中に庁内にプロジェクトチームをつくり準備を始める。

都市整備

里道（赤道）の取り扱いについて

田中 守議員

Q 里道を私有地のように使用している人がおり、近隣住民の方が苦情を寄せている。住民同士のいさかいになりかねない状況である。里道の払い下げ等の取り扱いはどうなっているのか。また、多くの住民はそれを知らずにいる。わかりやすい言葉で広報紙やホームページ等で周知を図るべきではないか。

A 里道としての機能を喪失したものは、用途廃止要件に基づき、町内会長等の利害関係者

の同意を得て、隣接所有者の申請により用途を廃止し、払い下げを行う。また、利用や管理に支障がある場合は条例に基づき工作物等の撤去を指導している。今後、ホームページや広報紙において、市民にわかりやすい情報を提供していきたい。

大村公園の桜のライトアップについて

城 幸太郎議員

Q 「花と歴史と技術のまちおむら」の「花」は大村の象徴になっている。その代表であり、市のシンボルでもある大村公園の桜を花まつり期間中にライトアップすれば「花のまち」の更なる充実が図られ、交流人口、またUターン、イターンによる定住者の増加が実現可能になるのではないか。

A 大村市が誇る大村公園の桜をライトアップすれば市内外からお越しの方に喜んでいただけると思う。ライトアップは行政でもある程度やれるが、本来なら5年計画などでプロの指導をいただきながら取り組むべきものではないかと思う。一步でも前進するよう平成25年度に事業を予算化する。